



著者プロフィール

鶴岡加苗（つるおか・かなえ）

昭和49年 広島県生まれ

平成15年 「夕風」入会

平成18年 「狩」入会

鷹羽狩行、片山由美子に師事

平成20年 狩座賞（新人賞）

平成25年 「狩」弓賞（特別作品賞）、同評論賞

現在 狩同人、俳人協会会員

〈句集『青鳥』より転載〉〈2014年7月14日時点〉

『青鳥』

（自選15句）

鶴岡 加苗

鶴引くや旋回のたび光得て
産声のまはりの無音花吹雪
小鳥来るひとさじからの離乳食
焼芋を割りて両手のふさがりぬ
清明や鳥はくちばし閉ちて飛ぶ
うつむいて吹いても空へしやばん玉
本棚も本も古りゆく花の雨
夏座敷水平線につながりぬ
もう何も出てこぬ蟬の穴の数
ひとの世に火のあるかぎり魂迎
霜降や汽車はレールにみちびかれ
しみじみと桜落葉の裏のいろ
待春の山にふところ川に淵
罐市や罐に選ばれゐることし
信号の赤が真赤に夏の雨